

札幌学院大学学園広報

編集・発行 札幌学院大学 広報課
〒069-8555 北海道江別市文京台11番地
電話 (011) 386-8111
<http://www.sgu.ac.jp>



豊かな学びとチャレンジを応援します

「イキイキ」の増殖拠点

コラボレーションセンターが完成

2015年2月、キャンパスの中心に「協働」(コラボレーション)をコンセプトとする学びの創造空間を整備しました。「協働」は本学が掲げる理念のひとつです。ここに学部・学年を超えて学生たちが集い、正課教育はもちろん、ボランティアやサークル活動に「協働」でチャレンジします。

少子高齢化とグローバル化が進む現代社会。大学には未来を拓く「気づき」と「深い学び」を促す働きかけが求められています。コラボレーションセンターは、さまざまな人々が出会い、知的交流を深める「イキイキ」の増殖拠点となります。この活気にあふれた「学びの創造空間」で広い視野を持ち、地域で活躍できる職業人を育成したいと考えています。

◆「学びのコラボ」を促す空間設計◆

コラボレーションセンターはキャンパスのど真ん中、C館2階にあり、A・B館のアクティブラーニング教室にも隣接しています。



コラボレーションラウンジ

ここに多様な学習ニーズに応える設備、最先端の情報機器を導入しました。また、廊下の壁は取り払い、ガラス張りにしました。開放的な空間で学生たちがお互いに刺激し合い、大学全体に「イキイキ」と学ぶ雰囲気が広がることを期待しています。

なお、この整備事業は文部科学省の「平成26年度私立大学等改革総合支援事業」に採択されています(教育改善に組織的・体系的に取り組む私立大学を選定し、その大学を重点的に補助する制度)。



プロジェクトラウンジ



多目的セミナールーム



PCルーム



エントランス

教員採用試験、卒業生を含めて 26名が合格

2015年度北海道・札幌市公立学校教員採用候補者選考検査登録者が10月21日発表されました。依然として非常に厳しい採用状況の中で、現役生から小学校11名(内道外大学推薦4名)、特別支援学校1名の計12名が選考検査に合格し教師への夢を実現しました。卒業生を含めた登録者の総数は26名になりました。教職を志望する学生は毎年100名を超えます。これらの学生の期待に応え、未来を担う児童・生徒を育成できる教員を養成するため教育実習などにおいてきめの細かい指導を今後も継続します。

2014年度「臨床心理士」資格試験 7名が合格

2014年度に実施された臨床心理士資格試験において、大学院臨床心理学研究科の修了生7名が見事合格を果たしました。

今回の合格により、2001年度(1期)から2013年度(13期)までの修了生127名中、108名(85%)が臨床心理士として名を連ねることになります。修了生は、精神科病院、クリニックなど医療分野をはじめとして、教育、福祉、司法・矯正などの各分野で臨床心理士として経験を積み、社会に貢献しています。今後とも、臨床心理士を養成する指定大学院として、本学がより高い評価を得られるよう、教育の充実に努めてゆく所存です。

日本代表として世界で活躍

カーリング部 ユニバーシアード冬季大会に男女揃って出場



カーリング部は、9月25日から28日、札幌で開催された「2015 冬季ユニバーシアード日本代表決定戦」で男女ともに初優勝し、2月4日からスペイン・グラナダで開催された「第27回ユニバーシアード冬季競技大会」に日本代表として出場しました。

10チーム総当りの予選リーグで善戦しましたが、世界の壁は厚く、男子が7位（3勝6敗）、女子が9位（1勝9敗）と、男女ともに準決勝に進むことが出来ませんでした。今回、準決勝には進めませんでした。スイス、カナダなど世界の強豪チームと戦うことが出来、貴重な経験を得ることが出来ました。

今後も国内大会で好成績を挙げ、海外大会へ出場し、チーム全体のレベルアップを図り、2018年韓国平昌五輪出場を目指していきます。

世界で活躍するカーリング部に今後ご声援をよろしくお願いたします。



藤本那菜さん アイスホッケー女子 日本代表に選出 冬季ユニバ銅メダル獲得!

ソチ五輪のアイスホッケー女子日本代表メンバーに選ばれ、チームの守護神ゴールキーパーとして活躍した藤本那菜さん(大学院臨床心理学研究科2年)が、新生スマイルジャパンのゴールキーパー(GK)に選ばれ、11月8日から新横浜スケートセンターで開催された『2015 IIHF 女子世界選手権トップディビジョン予選(日本対チェコ)』に出場しました。日本は、2勝1敗で1部残留を決め、第1戦を0点で守り抜いたGK藤本那菜さんは、第1戦のゲームベストプレイヤーに選ばれました。日本代表は、3月28日にスウェーデンで開催する世界選手権トップディビジョン(1部)に出場します。

また、2月にスペインで開催された「第27回ユニバーシアード冬季競技大会」に日本代表として出場し、銅メダルを獲得しました。



全米選手権大会へ 出場

人間科学科3年 曳田和樹

現地時間8月14日から16日、米国ミネソタ州で行われた「2014 Wheelchair Softball World series」に日本代表として参加しました。初日に試合で負け越し、日本代表はディビジョンIIのトーナメントになりました。7試合を行い日本協会としての初勝利を含む3勝を挙げ、ベストプレイヤー賞に4名選出されるなど好成績を挙げました。日本では、障害者スポーツ、車椅子ソフトボールの認知度は低いですが、今後の発展普及に向け尽力していく所存です。全米選手権大会の出場に温かいご声援、ご支援を頂きましたことに深く御礼申し上げます。



11年連続 全日本大学駅伝大会出場 主将(法律学科4年) 北川 昌宏

陸上競技部は、8月に行われた北海道大学駅伝対校選手権大会で11連覇を成し遂げ、11月2日に開催された第46回全日本大学駅伝大会に出場しました。北海道大学駅伝当日は朝から雨に見舞われましたが、選手一丸となり8区間中5区間で区間賞、アンカーを走った北川がMVPを獲る走り、11連覇を果たすことができました。しかし11月の全日本大学駅伝では、自分たちの実力不足、全国との差を痛感し、2年連続最下位という結果に終わってしまいました。この悔しさを来年こそは晴らせるよう、また、今後の活躍を期待していただけるよう日々努力していきます。最後に



ありがとうございます。

全国大会に 出場

第38回 全日本学生弓道 女子王座決定戦出場



女子主将(臨床心理学科2年) 新関 知里

11月24日に三重県伊勢神宮で開催された第38回全日本学生弓道女子王座決定戦に出場しました。弓道部女子として、4年ぶりの出場ということもあり、良い緊張感の中で試合に臨むことができましたが、初戦を1本差の接戦で負けてしまい、悔しい思いが残りました。この1本差で負けた悔しさを忘れず、これからもさらに練習に励みたいと思います。

最後になりますが、女子王座戦出場に応援頂いた大学関係者の方をはじめ皆様にご場を借りて感謝を申し上げます。



会計ファイナンス学科

日商簿記1級に 2名合格

会計ファイナンス学科では、簿記関係の資格取得に力を入れており、2011年度以降5名の日商1級合格者を出しています。今年度も1年生の木島嵩斗君と2年生の須藤敦基君の2名が合格し、経営学部の教員が見守る中で「日商簿記1級合格奨励賞」の授与式が行われました。須藤君は公認会計士試験の合格に向けて現在も猛勉強をしており、在学中の合格を期待されています。



須藤敦基君



木島嵩斗君



経営学科

山本純ゼミ新冠町を調査 「本当の学びとは、現場を知ること」

経営学科では、「本当の学びとは、現場を知ること」をモットーに現場での学びを重視しています。山本ゼミでは新冠町で買い物動向調査を行いました。高齢者や地域住民のつながりといった問題点を調査して持続可能な地域のあり方を考えていくことが目的です。個別訪問調査などを行い、調査結果の集計と解析、報告会用のプレゼン資料の作成と学生たちは調査を通して、成長する姿を見せてくれました。

経済学科

中村永友ゼミ「北海道・東北地方の 夏祭りにおける出店の特性」を調査

中村ゼミでは、夏祭りの出店に地域差があるか否かを調べるために販売種類や総出店数の調査を行いました。7月6日から8月26日にかけて北海道・北東北地区で調査し、大規模で有名な「勝野花火大会」「青森ねぶた祭」「秋田竿燈まつり」などから、大学周辺の「大麻・文京台の市民夏祭り」まで、25ヵ所のお祭りで、総計1,192店舗の調査を行い、調査結果を卒業論文としてまとめました。



法律学科

2014年卒業生(就職者)の 3分の1が公務員に

法律学科では、公務員志望者に対して採用試験対策を段階的に行っています。1年生では数学の基礎学力を固め、2年生では警察学や消防学、元市長の地方自治の授業を、2年生と3年生では試験対策の授業を用意しています。4年生では模擬面接を徹底的に行っています。その結果、公務員就職者数が30%を超えることが出来ました。



社会情報学科

社会調査士 資格の取得へ

3年次配当科目の「量的調査設計・量的調査演習」では、基礎科目で学んだデータの収集と分析の方法を、実際の社会に応用し、実践的に学んでいきます。カリキュラムに組み込まれている「社会調査士」資格の取得に向け、実務的な経験を積み、自分で調査を設計し実施できる力を身につけます。本学では毎年10名程の社会調査士が誕生しています。



臨床心理学科

高校生向け心理学講座を 高 開催します

臨床心理学科では、3月24日、25日に「高校生の心理学講座」と題して、初学者向けの心理学講座を開催する予定です。「心理学」については何となく関心を寄せてくださる方々も多いのですが、臨床心理学科での学びの内容についてまとまった形で知っていただく機会になればと期待しております。この絵をひっくり返してみてください。人間の認知は不思議ですね。



人間科学科

置戸町でフィールド ワークを行いました

人間科学科で開講されている「フィールドワーク」では、毎年学生による現地調査を実施しています。今年度は、11月18日から21日の日程で、置戸町を対象地として外部からの移住者の方々にインタビュー調査を行いました。移住者の多くは、地域産品である木工芸品(オケクラフト)の生産者の方々に、工房を訪ねて町内を歩きまわりました。学生たちは報告書の作成に向けて、現在データの整理に追われています。



英語英米文学科

留学経験を生かし 留 CA として世界へ

4年生の川原さくらさん(旭川北高出身)は、本学科の授業や教育プログラムなどを積極的に活用してきました。2年生では半期海外留学制度を使ってイギリスのエクセター大学で学び、3年生ではタイのチェンマイ大学での研修に参加。明るくおらかな笑顔の裏でたゆまぬ努力を続けた結果、卒業後は、大手航空会社のCAとして世界に羽ばたきます!



こども発達学科

授業実践力をつけて教員 採用試験 19名合格

小学校教師となって「わかりやすい授業をしたい!」そんな思いで、教具を工夫し板書構成を考え、模擬授業に取り組みながら身につけた授業の実践力。子どもに夢と笑顔を与えられる教師に。その夢にまっしぐらに進んでいます。実践重視の成果が表れ、今年度現役生11名、卒業生8名、合計19名が教員採用試験に合格。学生たちは、来年度も熱い思いで教員採用試験に挑戦します。



公開講座 —大学の知的財産を社会へ発信—

経済学部 公開講座 **日本経済と北海道**
—日本の財政・金融・産業の視点—

経済学特別講義は、第一線で活躍されている企業の方々、財務省や国税局や経済産業省の方を講師にお招きし、経済学部の学生のみならず、地域住民や道民カレッジ受講者にも開講しています。



今年度は、日本の財政制度や金融制度の実態などについて財務省、国税局、北洋銀行、北海道銀行などの実務担当者の方々にお話しいただき、消費税率の変化やアベノミクスなどの財政・金融政策が日本経済及び北海道経済、さらに住民の生活に及ぼす影響について深く考える講義となりました。昨年度に比べて地域住民や道民カレッジの受講者が増え、受講者からの活発な質疑応答により、学生たちにとっても充実した講義になりました。

法学部 公開講座 **企業の成長と持続の条件**

「法政総合講座C」の統一テーマは、「企業の成長と持続の条件」—企業統治、人権、社会的責任—とし、9月24日から1月21日まで、水曜日の3講時に開講いたしました。道内外より各分野（企業経営者・役職者、弁護士、税理士、公認会計士及び大学教員など）で活躍されている方をゲスト講師に迎え、貴重なお話をいただきました。本講義は、道民カレッジ連携講座としても開講しており、一般市民の方が毎回25名程受講され、好評をいただきました。



人文学部 公開講座 **『保育の質』とは何か**

「人間論特殊講義」は、『『保育の質』とは何か』をテーマに、8月18日から5日間にわたって開講いたしました。道民カレッジ・えべつ市民カレッジとの連携講座としても位置づいており、期間中一般市民77名、本学学生106名が参加しました。1日目と2日目には保育園や小学校などで発達・教育相談にあたっている、京都大学国際高等教育院の田中真介准教授をお招きし、ヒトの赤ちゃんとチンパンジーの赤ちゃんの比較から見られる人間の発達の独自性について、時にユーモアを交えながら講演いただきました。参加した現役の保育士の方からは、「明日からの保育では、目に見える行動から子どもの内面を探り、丁寧に関わっていきなりたい」という感想が寄せられました。



第7回総合研究所シンポジウム

経済学部准教授 佐々木 達

現代中国・内モンゴルにおける地域環境変動のダイナミズム

11月1日、社会連携センターにおいて『第7回総合研究所シンポジウム』を開催しました。今回のシンポジウムは、「現代中国・内モンゴルにおける地域環境変動のダイナミズム」と題して、国内外8名の研究者による講演ならびに報告を行いました。取り上げたテーマは、経済発展に伴う地域開発の様相、農牧業の展開過程、人々の暮らしや地域社会の変容、気候変動や地形環境の変化など多岐にわたりました。

当日は、人文科学、自然科学の双方から経済発展や環境変化のフロンティアともいえる内モンゴルの社会環境変化や現代中国を把握する地域的視座を獲得し、今後の課題を展望することができ、一般参加者も含めて盛況のうちに終えることができました。



心理臨床センター市民講座

子どものこころの理解と支援

人文学部准教授 久藏 孝幸



今年度も心理臨床センターによる市民講座が開催されました。第5回の今回は、地域のさまざまな業種の支援者支援をテーマとして、10月25日、12月6日、12月20日の3回にわたる連続講演を行いました。

全体のテーマを「子どものこころの理解と支援」とし、初回は野幌公民館で本学教授の市川啓子先生に、2回目は本学にて札幌市自閉症・発達障害者支援センターおがる所長で本学非常勤講師である山本彩先生と、同じくおがるの発達担当の坂井翔一先生のお二人のご講演、3回目も本学と同じく本学大学院非常勤講師であり、札幌医科大学臨床心理士の手代木理子先生にご登壇いただきました。

各回とも近郊市町村の教育・福祉関係者を中心とした幅広い地域支援者や実践家の皆様にご来場いただき、予定していた人数を上回る166名もの参加者により活発な意見交換がなされました。

講座実施にあたりましては、ご後援をいただいた諸団体の皆様、ならびに広報周知に協力いただいた団体や個人の皆様方に、この場を借りてお礼申し上げます。

パイロイト留学研修(2013年10月~2014年9月)を終えて

法学部准教授 嶋田 佳広

社会保障制度に関する比較法（ドイツ法）研究のため、ドイツで新進気鋭の研究者が在籍するパイロイト大学にて、公的扶助を中心に在外研究を行いました。パイロイト大学は、1975年の設立と比較的新しい大学です。設置されている学部は複数の専攻を組み合わせたものが大半であり（法経学部、数学物理情報学部など）、その意味で非常に学際的でもあります。

近年の傾向として、ドイツ全体で高等教育重視の流れが強まり、大学進学者が増加するなか、パイロイト大学入学者はここ4年で1.5倍になるなど、大学は活況を呈しています。筆者滞在中にも、学生の胃袋を満たすべく学生食堂（メンザ）が増設されるなどしていました。

パイロイト市は自らを「音楽祭と大学の街」と位置づけるように、非常に落ち着いた緑豊かな都市です。一般の日本人からすると田舎に映るかもしれませんが、それだけに自身の研究の進捗を狙いとして訪れた身からすると、いやでも集中力が高まりました。その成果を還元するのが今後の責務であり、そのための蓄えをさせてくれたパイロイト大学、そして貴重な機会を与えてくれた本務校の諸兄姉に心から感謝いたします。



2度目の認証評価を申請いたしました

2004年度の学校教育法改正に伴い、全ての大学は文部科学大臣が認証する評価機関の評価を定期的に受けることが義務付けられています。

本学では今年度、前回適合判定を受けた2007年度に続いて、2度目の認証評価を公益財団法人大学基準協会へ申請しました。この認証評価の審査は、2014年4月に提出した「自己点検・評価報告書」に基づいて、書面及び2日間に渡る実地調査にて行われます。

2015年3月には最終的な評価結果をいただく予定であり、その結果は提出した「自己点検・評価報告書」とともに本学ホームページでお知らせいたします。本学は、その評価結果に基づき、教育・研究活動のさらなる改善を目指してまいりますので、今後ともご理解とご支援をお願い申し上げます。

◆ 保護者懇談会

保護者の皆様と連携し、
学生の成長を支援するために

保護者懇談会は、1974年から開催し40年目を迎えました。今年度は、8月に帯広と釧路、9月に青森と函館、11月に本学で250名を超える保護者の皆様をお迎えし開催いたしました。

全体説明会では、教育活動、学生支援について、個別面談では、学科の教員よりお子様の修学状況(単位修得・成績など)のお話をさせていただきました。

保護者の方からは、「先生たちが学生ときちんと向き合っていることを知り安心しました」、「子どもの大学での状況がわかり安心しました」などの感想が寄せられています。本学としては、今後も引き続き、保護者の皆様と連携しながら、一人ひとりの学生の成長をきめ細かく支援していきたいと考えております。



◆ 保護者向け就職活動勉強会

—就職活動スケジュールが変更—to

11月1日保護者懇談会に続いて、G館SGUホールでキャリア支援課主催の『保護者向け就職活動勉強会』を開催しました。当日は、『就職活動を振り返って思うこと—親とのかかわりを通じて—』と題して、本学キャリアアドバイザーの田村洋子さんがコーディネーターとなり、企業に内定した3名の学生によるパネルディスカッションが行われました。厳しい就職戦線を終えた学生たちからは『就職活動は不安で一杯。話を聞いてあげるなどの心のケアや経済的援助など保護者のサポートが成功への道標になる』『就職活動を通じて家族の大切さを改めて実感した』『手作りごはんが何よりも励みになった』など活動中の思いを話してくれました。続いて、河西邦人就職部長から本学の就職状況と就職支援について説明があり、勉強会を終了しました。新聞などでも報道されていますが、現3年生から就職活動スケジュールが3カ月繰り下がり、3月1日から就職活動が本番となります。キャリア支援課では、学内合同企業説明会、公務員採用説明会、社会福祉施設説明会などを開催して、就職活動を支援しています。



2014年度 ふるさと江別塾が開催されました

11月22日、ふるさと江別塾が開催されました。ふるさと江別塾は、江別市教育委員会と市内4大学が共同で大学の〈知〉の資源を、市民に還元することを目的とし、例年10月から11月にかけて4大学がそれぞれの学問分野の特色を生かした講義を市民向けに提供しています。

現代社会とコンプライアンス

—会社法はどう向きあおうとしているのか—
法学部 教授 小杉 伸次



小杉教授は、2005年に定められた会社法（企業における各種不祥事や違反に対処する法）のうちコンプライアンスに関連が深い多重代表訴訟などについて講義しました。

子どもの貧困

—私たちの家族と社会のあり方を考える—
人文学部 講師 大澤 真平



大澤講師は、2013年に日本でも成立された「子ども貧困対策法」の背景にある子どもの貧困問題について、家族と社会のあり方や歴史的な位置づけ、他の先進国との比較などについて講義しました。

講義終了後に閉校式が行われ、斉藤俊彦江別市教育委員会教育部長より生涯学習の推進、生きがいの増進、そして今回学んだことを地域社会へ還元していただければ幸いですとのご挨拶をいただきました。

札幌学院大学・置戸町地域交流協定締結記念

第38回 学術講演会

講演と音楽の夕べ

9月19日、「第38回学術講演会 講演と音楽の夕べ」が置戸町中央公民館で開催されました。本学と置戸町は2012年に地域交流協定が締結され、これまでも学生のフィールドワークや教員の研究活動などで交流が盛んに行われております。



当日は鶴丸俊明学長の「過去を掘る—考古学の面白い話—」で講演がスタートし、学長ご自身がこれまで実施してきた置戸町勝山地区の発掘調査の研究成果や、自分たちの生活に関係の深い考古学の話などを町民の皆様にはわかりやすくお話されました。

第二部では札幌交響楽団コンサートマスター大平まゆみさん（ヴァイオリン）と明上山貴代（ピアノ）さんによる演奏が行われました。演奏する曲目の紹介を交えながら、馴染みのある曲を中心に演奏していただきました。お二人の演奏に合わせて参加者の皆さんが口ずさむ場面もあり、会場全体が温かい雰囲気になりました。参加者の方からは「ヴァイオリンの音色が素晴らしかった」「感激した」などの感想をいただきました。



BOOK REVIEW

教員著書紹介

障害児の教育権保障と教育実践の課題

養護学校義務制実施に向けた
取り組みに学びながら

障害児の
教育権保障と
教育実践の課題

二通 論：藤本文朗 / 編
出版：群青社
発売：星雲社
2014年12月25日発行
価格：2,000円＋税

心理学の世界 専門編 13 アセスメントの心理学

こころの理解と支援をつなぐ



橋本忠行・佐々木玲仁・
島田 修 / 共著
発行所：株式会社培風館
2015年1月30日初版発行
価格：2,500円＋税

情報教育システムを一新

iMac の利用で 幅広いコンピュータ技術を修得

2014年9月、授業で使
用しているパソコン243台を
Apple社製のiMacに全面リ
ニューアルしました。全学部
の学生にWindowsOSだけ



だけでなく、MacOSも理解して貰いたい。その思いを叶えられるのが、このiMacです。デュアル・ブート環境を構築することで、1台のiMacで2つのOSを利用することが可能となりました。今後は、WindowsだけでなくMacを使用する企業も増えてくると考えています。大学は、そのような社会のニーズに応えることが重要だと考えて、iMacを導入しました。WindowsOSだけでなくMacOSが利用できることで、動画や音声を編集するメディア系のソフトウェアが充実しました。既に情報系の科目や語学では、このようなソフトウェア(iMovieなど)を利用した授業が行われています。

今回の変更はパソコンだけではなく、コンピュータ教室に設置している書画カメラなどのOA機器と机のレイアウトも一新しました。また、A館2階のCALL教室(74台)と図書館閲覧室(51台)のパソコンも同時にiMacに変更しました。

新しいコンピュータ環境で学んだ学生たちが、その知識と経験を生かして社会で活躍してくれる事を期待しています。



日本女子マラソン “発祥の地” 記念パネルが完成

2014年10月23日、
本学の前身、札幌短期大
学の女子学生と卒業生が



日本女子マラソンの第一歩を記したことをたたえる記念パネルの除幕式が行われました。鶴丸学長から、1975年に陸上部を指導していた笹岡征雄名誉教授と網走市と女満別町間往復の日本陸連公認コース(42.195キロ)を完走した6人に感謝状が贈られました。記念パネルは、日本女子マラソンの歴史を切り開いた卒業生たちの大いなる挑戦をたたえ、課外活動に取り組む学生たちの励みにしたいとの思いから建学記念館前に設置されました。



札幌学院大学後援会 秋季役員会

11月8日、第73回後援会理事会が開催されました。加勢清光後援会長の挨拶に続き、報告第1号では山田智哉評議員の辞任に伴う後任に臼杵勲氏が就任されたことが報告されました。報告第2号では2014年度の間接事業報告があり、石川千温教務部長、平体由美学生部長、河西邦人就職部長から補足説明がありました。議案第1号の2015年度予算編成方針は提案どおり承認され、今春の役員会で正式に予算案として諮られることになりました。議案第2号は2016年6月に学園創立70周年を迎えることを記念して協力事業を行うことが提案され、今後、学園との協議を経ながら計画を進めていくことが承認されました。

会議終了後の昼食会では、井上俊彌理事長並びに鶴丸俊明学長から、後援会への謝意と学園の近況が述べられました。また、学生ゲストとして招かれた小俣雄さん(硬式野球部主将)と中村竜太さん・雷太さん兄弟(ボクシング部)からは部活動の取組みと今後の抱負が力強く語られ、最後に、4年生の保護者の皆様から心温まるスピーチをいただきました。後援会役員として3年間ご尽力いただき、心から感謝申し上げます。



— 教育振興寄付金ご協力のお願い —

昨年4月から教育振興寄付金は、インターネットからのお申し込みとクレジットカードで資金決済ができるようにいたしました。今までは、郵便局の窓口振込みが大学へ現金をご持参いただくなどお手数をおかけしていましたが、寄付をしたい時に自宅から『24時間いつでも・カードで簡単に』というお声に答えさせていただきました。寄付金は、寄付をされる方のご意向が少しでも反映されるような施設・設備の充実など5つの使途を中心に活用させていただきます。

※今までも、郵便局からお払い込みいただく方法で寄付をしていただくことも出来ます。ご不明な点がございましたら財務課へお問合せください。

教育振興寄付金のご協力に深く感謝

ご芳名 (敬称略・順不同)	板倉 正明 吉田 邦弘 桃山 光雄 中原 吉則 中井 哲朗 横山 末雄 岡田えい子 野口 信幸 井上 俊彌	中西 宏明 日本清酒株式会社 阿部 雄也 鈴木 英弘 菅原 秀二 菅原 真紀 渡部 勉 宮町 誠一 三木田 光	佐藤 秀幸 大馬 力 福島 広人 中野 徹三 廣川 和希 辻 智子 加藤 元嗣 杉井 西子 山本 辰勇	光武 幸 小山田直俊 栗橋久美子 渡邊 知樹 白井 博 山元 智和 廣嶋 進
------------------	---	---	---	--

教職員人事

- 退職 (2014年8月31日付)
人文学部英語英米文学科
.....シンクル P.M.
- 異動 (2014年12月24日付)
教務部教務課学習支援係長
斎藤 美雄 (教務部教務課全学共通・庶務係長)
教務部教務課全学共通・庶務係長
伊藤 真史 (教務部大学院・研究課係長)
教務部大学院・研究課
井上 寿枝 (教務部教務課学習支援係長)
教務部教務課
有田 優子 (学生課)
- 任命 (2014年9月1日付)
経済学部経済学科長
.....加藤美穂子
経済学部教務委員長
.....山田 智哉

第44回 鳴秋祭が開催されました

第44回大学祭実行委員長 (人間科学科3年)
佐々木 勇太

10月11日、12日の2日間第44回大学祭「鳴秋祭(めいしゅうさい)」を開催いたしました。

初日は、テントが飛ばされそうになるほどの強風に見舞われ

ましたが、予定より1時間遅れで何とか露店の営業を開始することが出来ました。例年、開催期間中に雨が降ることが多かったですが、今回は雨もなく全企画を屋外で行うことが出来ました。その結果、2日間を通して、1,000人近くの方に来場して頂くことが出来ました。

屋外のステージでは、各学部の学生自治会の持ち込み企画をはじめ、YOSAKOIサークルの演舞や和太鼓サークルの演奏で多くの来場者を楽しんで頂きました。また、2日目に行われたお笑いライブでは、300人近くが来場して大盛り上がりを見せました。その他にも、本学のサークルや地域住民の方々が、露店、模擬店、展示発表などを行い、小さなお子様からご年配の方まで多くの方に楽しんで頂きました。

最後になりますが、大学祭にお越し頂いた皆様へ大学祭実行委員一同お礼申し上げます。

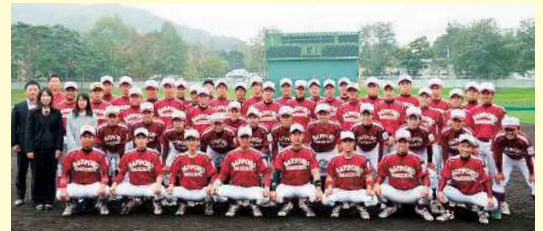


硬式野球部

5季ぶりに1部リーグ昇格

主将(経営学科3年) 小俣 雄

1部リーグ昇格を目指して挑んだ春季大会は、2部リーグで優勝し入替戦に進んだものの北翔大学に敗退し1部昇格は果たせませんでした。また1部昇格できなかった悔しさをばねに部員一丸で必死に練習した結果、秋季大会も2部リーグ優勝することができました。入替戦の相手は、春に続いて北翔大学となり、2勝1敗で勝利し5季ぶりに1部昇格を果たすことができました。1部に昇格しましたが、チームはまだ課題が多く、誰一人現状に満足していません。今後も一生懸命練習して、来季は1部優勝を目標に頑張っていきたいと思います。



第6回「図書館大賞」

—1年生が大健闘! 入賞者全員が人間科学科生!—

●受賞者の紹介文は、図書館ホームページに掲載しています。

みんなに紹介したいオススメ本について、心に「ぐっ」とくる紹介文を書いた方に授与される「図書館大賞」。この企画は日頃から本に慣れ親しんでもらうこと、読書意欲や思考力・表現力の涵養を目的としており、今回も心に響く作品が寄せられました。

写真向かって
右側から
長谷部さん
増田さん
厚木さん



受賞者と推薦図書

- 【1席】 長谷部 愛(1年)『ブチ哲学』
[中公文庫] 佐藤 雅彦(著)
[中央公論新社 2004年]
- 【2席】 増田 拓哉(4年)『のぼうの城』
和田 竜(著) [小学館 2007年]
- 【3席】 厚木 歩(1年)『ドレスを着た男子』
デイヴィッド・ウォリアムズ(著)
クエンティン・ブレイク(イラスト)
鹿田 昌美(翻訳)
[福音館書店 2012年]

異文化交流

韓国・東亜大学 国際交流プログラム

経済学科2年 植木 佑哉

韓国の東亜大学との国際交流プログラムに参加して、4泊5日と短い間ながらも多くのことを体験することができました。プレゼンテーション発表の時に、私たちが日本語でしか話すことができないのに



慶州(韓国)で東亜大学の学生と記念写真。左上が植木くん。

対し、東亜大学の学生たちが日本語を使って発表できることに大きな差を感じました。また、勉強熱心な姿勢を感じたことなど、沢山の刺激を貰うことができました。

このプログラムが始まった頃には、他の学生たちに馴染めるか不安でしたが、研修中は、互いに協力して楽しく過ごすことができました。今では国際交流委員となり、本学の留学生とも接点を持つことができました。このプログラムへの参加は私の大学生活にとって大きな変化をもたらした経験でした。これからも機会があれば参加したいと思います。

おいしい! 安い!

100円朝食

江別市内4大学・1短期大学共同の企画「秋の食生活改善運動—朝食を食べよう! キャンペーン」が10月22日から24日まで実施されました。毎年春と秋に行われるこの企画は、毎日朝食を食べて講義に出席することを目的に、春は5月28日から30日まで実施され、好評を得ました。ご飯、味噌汁、牛乳を基本に、日替わりの主菜と好きな小鉢2品が選べて、1食ワンコイン100円です。このボリューム(=写真)で驚きの100円。とても安いのに栄養価は抜群の朝食がとれ、1日元気に過ごせます。

学食6階「カフェテリア・ソレイユ」は朝から学生、教職員、地域の方でにぎわいをみせ、美味しくて大満足の3日間でした。



ラッピングバス新デザイン

ラッピングバスのデザインが新しくなりました。横面には2016年に創立70周年を迎えるメッセージを、後方にはG館の写真が掲載されています。

課外活動やオープンキャンパスに参加される高校生の送迎などで広く使用しています。



学生相談室

臨床心理士がサポート



学生相談室では、臨床心理士が多様な相談に応じています。相談内容は学業や学生生活にとどまらず、性格や健康問題、就職活動や進路など多岐にわたっています。その中でも対人関係についての相談が最も多く、これは全国的な傾向とも一致するところではあります。

「相談する＝アドバイスをもらう」と考えられがちですが、アドバイスはいつときの不安の軽減にしかありません。むしろ、相談室では「一緒に考える」協働作業を大切にしています。このプロセスを通して引き出される潜在的な問題解決能力を日常生活の中でも活かしていくことが大事だと考えているからです。些細な悩みや困り事でも構いません。気軽に学生相談室のドアをノックしてみてください。

学生広報チーム

「THE SGU」第5号発行

「学生広報チーム」は「学生が大学の魅力を発信する」ことを目的として2010年度に結成され、今年度で5年目を迎えました。主な活動は、高校生向け大学案内冊子「THE SGU」の作成です。今年度も7月のオープンキャンパスに向け第5号を発行しました。活動的なメンバーが多く、授業や就職活動、部活、アルバイトの時間をめって「THE SGU」の作成に奔走しました。メンバー自ら企画を立案し、声を掛け紙面に載ってくれるモデルの学生を集め、お店に取材に行き、紙面のレイアウトを考えました。

メンバーの金田彩花さん（会計ファイナンス学科3年）は「沢山の人の声をかけモデルをお願いし、写真を室外で撮ったり、レイアウトに凝ったり、より雑誌に近くなるように頑張りました。来年に向けて、広報メンバーを確保し、今年よりも読み応えのあるものを作りたいです。」と次年度に向け豊富を語ってくれました。



オープンキャンパス



高校生に本学の魅力をより感じてもらい、進路選択の助けとなるよう、年間5回オープンキャンパスを開催しています。これまで開催した4回（6,7,9,11月）のオープンキャンパスでは、受験対策講座をはじめ学科説明やミニ講義、マーケティングや考古学、カウンセリングに関する体験学習など進学後の学びをイメージしやすいプログラムを提供しました。また、学生スタッフによるキャンパスツアーや毎回人気の女子カフェも「在学生との交流で大学生活がよく分かった」と参加者から好評でした。次回の開催は3月21日です。多彩なプログラムで皆様のご参加をお待ちしています。

オープンキャンパス…開催予定…

2015年 3月21日(土)	11:00 - 15:00
2015年 6月21日(日)	11:00 - 16:00
2015年 7月26日(日)	11:00 - 16:00
2015年 9月27日(日)	11:00 - 16:00
2015年 11月15日(日)	11:00 - 16:00
2016年 3月21日(月・祝)	13:00 - 16:00

インターネット出願はじめました

受験生の利便性に配慮し、2015年度一般入試およびセンター試験利用入試でインターネット出願を開始しました。

出願の際はパソコンなどの画面のガイドに従って入力するので、記入漏れや書き損じの心配もなく、願書の取り寄せも不要なため、締め切り直前でも24時間出願できるようになりました。

さらに、インターネット出願による割引制度「ネット割」により、郵送、持参の受験料に比べ、一般入試では3,000円、センター利用入試では2,000円が割引となります。また、3学科までの併願料も無料にして、受験料の負担軽減と受験チャンスの拡大を図りました。

2014(平成26)年度 学位記授与式

日時 2015(平成27)年3月19日(木)

11時 開式(集合時間 10時45分)

大学院 臨床心理学研究科 (集合場所 D302教室)
 人文学部 人間科学科 (集合場所 D202教室)
 人文学部 英語英米文学科 (集合場所 B201教室)
 人文学部 臨床心理学科 (集合場所 D302教室)
 人文学部 こども発達学科 (集合場所 B102教室)

12時 開式(集合時間 11時45分)

大学院 地域社会マネジメント研究科 (集合場所 E302教室)
 商学部 商学科 (集合場所 E301教室)
 経営学部 経営学科 (集合場所 E301教室)
 経営学部 会計ファイナンス学科 (集合場所 E301教室)
 大学院 法学研究科 (集合場所 D201教室)
 法学部 法律学科 (集合場所 D201教室)

13時 開式(集合時間 12時45分)

経済学部 経済学科 (集合場所 D301教室)
 社会情報学部 社会情報学科 (集合場所 B101教室)

式場 札幌学院大学 G館 SGUホール

2015年度 大学行事等予定

【前期】

3月30日(月) 在学生ガイダンス(2・4年)・在学生健康診断(2年)
 31日(火) 在学生ガイダンス(3年)・在学生健康診断(3・4年)
 4月 1日(水) 入学式
 新入生・保護者説明会
 2日(木)～3日(金) 新入生ガイダンス
 4日(土) 新入生健康診断・英語プレシメントテスト①
 新入生ガイダンス
 6日(月) 授業開始
 7日(火) 開学記念日
 5月 4日(月) 学園創立記念日(通常授業日)
 6月15日(月) 学園創立記念日(通常授業日)
 21日(日) オープンキャンパス
 27日(土) 大学祭
 28日(日) 大学祭
 7月26日(日) オープンキャンパス
 28日(火)～8月3日(月) 前期定期試験
 8月17日(月)～22日(土) 夏期集中講義期間(前期科目)
 29日(土) ミニオープンキャンパス・保護者懇談会(旭川)
 30日(日) ミニオープンキャンパス・保護者懇談会(北見)
 9月5日(土) ミニオープンキャンパス(帯広)
 6日(日) ミニオープンキャンパス(釧路)
 7日(月)～12日(土) 秋期集中講義期間(後期科目)
 12日(土) ミニオープンキャンパス・保護者懇談会(函館)
 13日(日) ミニオープンキャンパス・保護者懇談会(青森)

【後期】

9月19日(土) 後期授業開始・AO入試第1回面談
 24日(木) 前期末学位記授与式
 27日(日) オープンキャンパス
 10月17日(土)～18日(日) AO入試(本学)
 24日(土) 編入学試験(A日程)
 31日(土) 保護者懇談会(本学)
 11月15日(日) オープンキャンパス
 28日(土)～29日(日) 推薦入試
 12月19日(土) 自己推薦入試A
 1月 9日(土) 英語プレシメントテスト②
 16日(土) 大学入試センター試験
 17日(日) 大学入試センター試験
 26日(火)～30日(土) 後期定期試験
 30日(土) 編入学試験(B日程)
 2月 1日(月) 後期定期試験
 3日(水)～4日(木) 一般入試A
 26日(金) 卒業・進級発表
 29日(月) 転学部・学科試験
 3月 5日(土) 編入学試験(C日程)
 8日(火) 一般入試B・自己推薦入試B
 18日(金) 学位記授与式
 21日(月) オープンキャンパス

※なお、変更が生じた場合は、本学ホームページにてご案内させていただきます。

札幌学院大学 公式Facebookページ



札幌学院大学公式 Facebook

2014年1月に運用を開始して以来、大学の諸活動をタイムリーに情報発信しています。フェイスブックに登録されていない方も投稿記事をご覧くださいませ。

札幌学院大学 fb 検索

@satugakuuniv LINEから情報をゲットしよう!



受験生用公式 LINE @

2014年6月に受験生用公式LINEをはじめました。オープンキャンパスの情報や入試情報、大学の諸活動など様々な情報を受験生へお届けしています。